

No. 904

CAIXA POSTAL, 58 BAURU - ESTADO DE SÃO PAULO BRASIL

本社移轉に就て

(ロンドン十八日) 一九三五年六月二十三日英米は開く事に決定した。

壊せんとするものである。断じ英政府として企圖を実行せしむるための政府の努力である。日本政府方面では新嘉坡が陥落してゐる間に就いての英の態度は世人猛烈の如くである。日本は準備會議にはこの限りで、その他の方面ではまだ新嘉坡が陥落する前に以て辛うじて自らの意見を支持してゐる。英國は依然としてその他の事項を巡廻せんとするは勿論である。専め日本政府では香港の埠頭のみにて英國の極東に於ける立場を確立する所である。一方で、英國が無線電力輸送網で世界を掌握する大計画の下に去る事は到底考へることも出来ない。いづれ之は博士より名を籍りて戦艦上の架空光纜幕を建設する大物である。いづれ之は世界の雷名を轟かせつゝ居る。博士の外の何物でもあるまい。アーチナルズがトライアルの如きが終り、既に運送船に搭載され、既に航行した大袈裟な手口である。既に運送船に搭載され、既に航行した大袈裟な手口である。既に運送船に搭載され、既に航行した大袈裟な手口である。

本紙は行を續ける。時代の開拓と、因つての最終目的の達成に、轉開始する。R

創刊號以來十三年、本社はバウル市に在つて
いて居りましたが、
その趨勢は、本社を現状のまゝ、當バウル市に
せて呉れぬ機吾々は認識し始めました。
と本社は、本日号を以てバウル市に於ける本
社の所在地は聖市の方へ
致す事になりました。
聖市の方へ
の本紙伯語題字は “Semanario de São
Paulo” と致しておきましたが、本紙發行が週一
回になり、漸ては三回へと計畫致してあります
、次号よりは “Noticias de São Paulo”
題字改名を致す事になりました。
字が所謂日本語の「聖州新報」によれば
事を御了承下さ。
から伯國新憲法の新聞條令によりまして、行
政所へ改めて新登記を要し、
と併し社長には伯
人を置くを要する事になつて居りますので、
は本社長 Dario Plates Almeida
を据え、香山社長は社所有權者兼編輯人と決
致しました、此邊の處も不取敢御諒解を得お
から本社聖市へと移轉の爲め約一週間休版致
を得ぬ仕儀に立ち到りはせぬかと豫想致し居
時恰もロンドンに於ける日英米三國論議
は本紙が一週間休版の如きは、恐る可通
自己公演を感じて居りますので、出来る丈け
五年度海軍縮本會議の豫備會議を今二十三日大
して居ります院として、在伯邦人を主導して
本社が聖市移動によつて本紙面上に斷然祖國
の速報を開始致しまして、豫讀者諸兄姉おきま
版せぬ謹慎重努力する段りでござります。
化と起させぬ事は勿論でござります。
本紙が一週間休版の如きは、恐る可通
自己公演を感じて居りますので、出来る丈け
五年度海軍縮本會議の豫備會議を今二十三日大
して居ります院として、在伯邦人を主導して
本社が聖市移動によつて本紙面上に断然祖國
の速報を開始致しまして、豫讀者諸兄姉おきま
版せぬ謹慎重努力する段りでござります。
移動に際し右機社告致し御挨拶申述べおきま
和 九年十月二十三日
九三四年十月二十三日
ト賀）夫千名は深度四
野球リーグ戦
（東京十一日）昨日の帝
（ト賀）シンク・キル
の試合は四對零で法政
九三四年十月二十三日
和 九年十月二十三日
の地底で
の飢餓同盟

軍縮豫備會議始まる

泰羅バウル市セニオ一
タケフロ街三五八
書行所
泰山新報社
書行人
泰山 六郎
本定印一年三〇ミル
廣告科一段一圓五ミル
て居る

（マニラ製）近來種に見る大暴
風が十五日當地で變ひ電話線以
外一切の運営機關は杜絕した、
たゞ今當市名數の歩道は浸水し

拓務省高級官吏
陸軍管理に抗議

施に反對的の宣言を行ひ、責任者を以て來る爲め、大阪市災害復興費百萬圓抗内ハシガード、ストライキを開始し冷水ポンプを破壊共出づつたので、同夜大阪府三宅庶務部長は東上して内務省に對し赤色死神一千個を用意せしもで、麻酔會社首脳脳内に直接糾闘すべき事を主張する

○○○第一映寫班ソロカバナ全線巡回中主任五十嵐天堂
主狂倉方男

本紙創刊以來十三年、本社はバウル市に在つての放送を續けて居りましたが、時代の趨勢は、本社も現状のまゝ、當バウル市に閉じさせて呉れぬ機知吾々は認識し始めました。因つて本社は、本日号を以てバウル市に於ける本の星終号と剣しまして、明二十四日より聖市の方へ轉開始致す事になりました。

本社の所在地は聖市の左の處であります。

RUA TABATINGUERA, NO. 96

是迄の本紙伯語題字は "Semanário de São Paulo" と致しておりますが、本紙發行が週一回になり、漸ては三回へと計畫致しておりました。次号よりは "Notícias de São Paulo" 伯語の題字改名を致す事にならうとした。

斯題字が所謂日本語の「聖州新報」によると書かれてある事を御了承下さい。

それから伯國新憲法の新聞條令によりまして、行政区の異乎處に外國人經營新聞社移転は、秘書先の生れの伯人を置くを要する事になつて居ります關係社長には本社長の姫女嫁たる Dario Prates Almida を据え、香山社長は社所有権者編輯人と決し登記致しました、此邊の處も不取敢御誤解を得おます。

それから本社聖市へと移転の爲め約一週間休版致しましたが……時恰もローデンに於ける日英米三國間の軍艦事件へ改めて新登記を要し、且つ間もなく本社長には本社長の姫女嫁たる Dario Prates Almida を据え、香山社長は社所有権者編輯人と決し登記致しました、此邊の處も不取敢御誤解を得おます。

聖市に移動したからとて、從來の講習料及廣告料等變化を起させぬ事は勿論でござります。

尙ほ本社が聖市移動によつて本紙面上に断然祖國ニースの速報を開始致しまして、讀賣諸君が如何に機知吾々の自慢を感じて居りますので、出来るだけ回は休版せぬ機知吾々を努力する限りでござります。

本社移転に際し右機知吾々を以て居るのでござります。

一九三四年十月二十三日 昭和九年十月二十三日

部ニア山支店 月九日月廿二日
月九日月廿三日
月九日月廿四日
月九日月廿五日
月九日月廿六日
月九日月廿七日
月九日月廿八日
月九日月廿九日
月九日月三十日

